

大津 エンパワ ねっと通信



龍谷大学「大津エンパワねっと」は学生と地域が協働してまちづくりに取り組むプログラムです。
since 2007
〒520-2194 滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5
龍谷大学瀬田キャンパス内 大津エンパワねっと(2-202教室)
TEL:077-543-7691 FAX:077-543-7615
E-mail: shakaigp@ad.ryukoku.ac.jp
HP: http://www.soc.ryukoku.ac.jp/gp/index.html

TOPICS

第4期生 『地域エンパワねっとII』 取り組み途中経過 STEP3 共有する

エンパワ4期生*『地域エンパワねっとII』、本格的にスタートしました!

地域のこと、チームで動くということ、地域の方々と協働するということ...『地域エンパワねっとI』を終え、いろんなことが少しずつ分かり始めたエンパワ4期生たち。今の気持ち、『地域エンパワねっとII』への思いをキーワードで表し、仲間と共有しました。



『地域エンパワねっとII』では、『地域エンパワねっとI』で地域の方々とともに発見し考察した課題について、その「解決」のための具体的な企画を立案、実施していきます。

私がエンパワIで得たものは

希薄

住民同士が仲良くなる機会がない。

地域の高齢化

地域活動に参加している人のほとんどが65歳以上の高齢者で若い人(特に男性)が少ないことを知った

ヨコのつながり

各団体のつながりが深まれば大きなエネルギーになって大津を盛り上げられるのではないと思った。

連携

人の意見をしっかりと聞くことができなかった。連携をはかり、もっと全員で協力して進めていきたい。

意識の転換

活動に必死で反省ばかりしていたが、町の人に目を向けて考えることを覚えた。

地域課題について

当事者意識

店主さんのやる気を応援し、活気のある居心地の良い商店街を目指す。

よりつながりを

学生ならではの視点を活かし、「地域の方が参加したい!」と思えるように、伝統的な行事を通して、よりつながりが深まるよう協力したい。

表現力

自分の考えをしっかりと地域の方に伝えられるようにする。

交渉力

地域のニーズと自分たちのやりたいことをうまく擦り合わせていけるような企画力、交渉する力を身につける。

目的意識

相手が求めていることを常に考える。地域と協働していくというエンパワの主旨を常に意識する。

自分自身について

ぶれない

企画ありきにならない。目的からぶれないように、調整能力を身につける。

私がこれから取り組みたいことは

*エンパワ4期生...前年度後期から『地域エンパワねっとI・II』に取り組んでいる学生たちです。

NEWS

新・大津エンパワねっと運営委員メンバー紹介

社会学科

吉田 竜司

- ①社会変動論(都市型の伝統的祭礼の歴史研究を通じて、祭りの政治経済論の構築を目論んでいます)
- ②学科横断型・地域連携という、社会学部ならではのユニークなプログラムです。
- ③他学科の学生さんや、大学外の大人たちといった、「異質な他者」との交流を楽しみながら、「人生の経験値」を上げていきましょう!

コミュニティマネジメント学科

古賀 和則

- ①宗教学・宗教社会学
- ②大津エンパワねっとには2種類のコミュニティがあります。一つは地元大津です。もう一つは学生同士、学生と地元間のコミュニティです。活動を通して、これらのリアルなコミュニティの構築、活性化を目指すものです。
- ③関わることは育てられていること。

コミュニティマネジメント学科

笠井 賢紀

- ①生活史法による調査
- ②昨年度末の報告会を見て、学生がしっかりと報告をしていることと、地域の方々が足を運んでくださっていることに感銘を受けました。
- ③地域の方々と大学が協力・支援してこのような機会があるのは貴重なことです。この機会を生かして、皆さん自身もぜひエンパワされてください。

年度初めということで...

6名の新しい運営委員のメンバーを紹介!

新メンバーの先生方にコメントをいただきました!
(皆さん社会学部の先生方です)

- ①専門(科目)
- ②大津エンパワねっとについて
- ③学生に向けてひと言



おかげさまで大津エンパワねっと、6年目をむかえました。

地域福祉学科

松溪 憲雄

- ①社会保障論
- ②社会学部全体で取り組んでいる、授業ですし、事業です。
- ③「学生時代に、何をやって来たか」という質問は、就活の際に、よく聞かれる質問です。「バイトを頑張っていた」という答えに、私は、あまり感心しません。「大津エンパワねっとを頑張っていた」という回答をするのも、良いのではないのでしょうか。

臨床福祉学科

松島 恵介

- ①心理学など
- ②③大津は、ゆっくりと歩いてみることで魅力を発見できる街だと思います。大学と駅とのあいだでも、ときにはゆっくり、いろいろと寄り道やまわり道をしながら歩いてみてください。授業だからと特別に身構えるのではなく、そういう日常の時間の延長にこの取り組みがあるとよいのではないかな、と思います。

臨床福祉学科

樽井 康彦

- ①障害者福祉
- ②③大津エンパワねっとの活動は、地域の方々と共に課題を発見し、答えを創りだしていただける場所が素晴らしいと思います。学生の皆さんには、そのような創造的な過程を通して、社会について多くを学んでほしいと思います。4月に着任したばかりですが、よろしくお願いたします。

しゅづつなぎ COLUMN

ホンモノの異文化体験がここに

学生たちは、口を開けば「コミュニケーション力を身につけたい」と言います。ですが、ネットや携帯を使いこなすのはもちろんのこと、「空気を読む」技術に至るまで実は超一級。足りないのは唯一、異世代や異文化との出会いの経験値です。エンパワねっとの活動では、世代や経験の異なる地域の皆さんとの間で、真剣勝負の交渉や擦り合わせが続きます。



第7回 授業担当の 築地 達郎 先生 (社会学科 コミュニティマネジメント学科)

“腰掛け”の語学留学では得られないホンモノの異文化体験の場が、ここにはあるのです。

今回は... 瀬田東学区 大津エンパワねっとを進める会 委員の方

スケジュール・お知らせ

5月

- 11日(金):『地域エンパワねっとII』全体授業
- 12日(土):『大学と地域をつなぐ特別講義II』(瀬田東 まち歩き)
- 14日(月):大津エンパワねっとを進める会(瀬田東)
- 16日(水):エンパワねっと相談会(学内・昼休み)
- 17日(木):『大学と地域をつなぐ特別講義II』(社会学科)
- 25日(金):大津エンパワねっとを進める会(中央)
- 30日(水):大津エンパワねっと運営委員会(学内)